

実践の知を「事例研究」 としてまとめる取り組み

2026年

開催時間

1月23 (金) 18:00～19:30

申し込み締め切り
2026年1月9日(金)

高度実践看護師は、複雑で多層的な臨床現象に対して専門的判断を行い、ケア実践を通じて多くの知を創出しています。こうした「実践知」を看護学の知として体系化・共有するためには、方法論的な整理が求められています。本研修会では、高度実践看護師が自らの実践を「事例研究」として記述・分析し、実践知を学術的に蓄積していく視点を共有します。実践の意味やプロセスを可視化し、看護の本質的価値を再発見することを目的としています。

参加される皆様には、事前に「ケアの意味を見つめる事例研究 看護実践の知を探求する研究方法論(山本則子先生 / 柄澤清美先生 編集)」の本をご一読されることをお勧めいたします。

オンライン
開催
定員80名

こんなことでお悩みではありませんか？

problem1

事例検討はしたけれど、研究にできる？

problem2

事例の倫理的配慮はどうすればいい？

対象：高度実践看護師

※資格保有者に限らず本企画内容に関心のある方であれば参加可能です

学会員：参加無料

非学会員：2000円

締め切り後に振込先について事務局よりご連絡いたします。入金後のキャンセルによる返金は、いかなる理由があろうとも承れませんのでご注意ください。

本研修では、日頃から精神看護専門看護師としてみなさんが実践している知を事例研究としてまとめる方法について検討します。みなさん、是非ご参加ください！

1

講演

川崎市立看護大学／精神看護専門看護師

嵐 弘美 先生

専門看護師の実践知を言語化し、伝播・継承していく手法として「事例研究」に取り組まれています。この経験について具体的にお話いただきます。

2

講演

武蔵野大学／がん看護専門看護師

山花 令子 先生

「事例研究」では実践事例の経過を詳細に提示しなければならず、関係者のプライバシーを侵害する危険性があります。それに対する倫理的配慮や倫理審査の課題についてお話いただきます。

3

意見交換・質疑応答

講師との対話を通して、「実践を研究としてまとめる」意義と課題を共有し、今後の方向性をみなさまと一緒に検討します。

お申し込みはこちら

URL：<https://forms.gle/2EXjT3rPN1euawcGA>

お問い合わせ先

MAIL：matsumuram@osaka-shinai.ac.jp 大坂信愛学院大学 松村麻衣子

こちらからも
お申し込みいただけます！

